



もっと知りたい!!

インドネシア人のこと

Part 1



通称?本名?インドネシア人の名前のヒミツ

インドネシアでは、苗字（ファミリーネーム）を持たない人が多くいます。たとえば、初代大統領スカルノ氏は「スカルノ」という一語のみの名前で知られています。日本では「苗字+さん」で呼ぶのが一般的ですが、インドネシアではたとえ苗字があっても、名前やミドルネームで呼ぶのが一般的です。これは多民族国家ならではの文化背景があり、地域によって名づけの習慣が異なるためです。ジャワ島出身者には苗字を持たない人が多い一方、スマトラ島やバリ島の人は苗字を持つことが一般的です。

たとえば「JONATHAN ANDREA TAMPUBOLON」さんなら、「ジョナサン」や「アンドレア」と呼ばれることが多く、苗字の「TAMPUBOLON」で呼ばれることはほとんどありません。

飛行機のチケット予約やビザ申請などで「名前」と「苗字」に分けて入力しなければならない場面では、注意が必要です。

たとえば、苗字がない人や名前が複数語ある人は、名前欄に1語、残りを苗字欄に入力するなどの工夫が必要です。名前が1語しかない人や5語以上ある人の場合、日本のシステムでは対応できず、電話やカウンターでの手続きになることもあります。

また、インドネシア人の多くは通称（ニックネーム）を持っており、職場や友人同士では通称で呼び合うこともあります。

通称は住民票に登録して、公的書類でも使えるようにすることも可能です。長い名前を書くのが大変な人には、こうした制度を紹介してあげると喜ばれるかもしれません。

インドネシア人の名前文化は、日本とは異なる点が多くありますが、それを理解することでよりスマートなコミュニケーションが生まれます。

日常のやり取りから書類手続きまで、ちょっとした知識が相手への配慮につながるかもしれませんね。

出身地で性格も違う?

多民族国家であるインドネシアでは、出身地域によって性格や行動傾向にも違いがあると言われています。もちろん個人差はありますが、送り出し機関の方々から聞いた、現場でもよく言われている出身地別の“イメージ”をご紹介します！

スマトラ島(メダン・パダンなど)



自己主張がはっきりしていてリーダーシップがあり、力仕事にも向いているという印象があります。ハングリー精神が強く、建設業や現場系の仕事で活躍する方が多いです。特にメダン出身のバタック民族は「弁護士に向いている」と国内でも評判だとか。

バリ島

明るく、人当たりがよく、ホスピタリティ精神があるのが特徴です。観光地ならではの開放的な文化背景もあり、介護・宿泊・食品製造などのサービス業で力を発揮する人が多いそうです。



中部・東ジャワ(スマラン・スラバヤなど)のジャワ民族



優しく柔軟性があり、宗教心も深いのが特徴ですが、それに加えてハングリー精神も強く、どんな仕事でもやり遂げる根性があると言われています。実際に、インドネシア歴代大統領の多くは中部または東ジャワ出身だとも納得ですね。

西ジャワ(ブカシ・バンドンなど)のスンダ民族



大人しく、素直で、信仰心が深い人が多いとされ、優しく明るい性格が特徴。人と接するのが得意で、介護や接客といった対人業務に向いている一方で、重労働はあまり好まない傾向もあるそうです。

インドネシア人と外国語学習

インドネシアは、約300の民族が暮らす多民族国家であり、それぞれの地域に独自の言語と文化が存在しています。公用語としてインドネシア語が広く使われていますが、日常生活ではジャワ語、スンダ語、バリ語などの民族語も頻繁に使用されており、人々は幼いころから複数言語に触れる環境で育っています。そのため、言語の習得に対する柔軟性が高く、外国語に対する心理的なハードルも比較的低い傾向があります。

近年では、英語に加えて日本語や韓国語、中国語といったアジアの言語への関心も高まりを見せていました。特に日本語は、アニメや漫画、J-POP、映画などのポップカルチャーの影響を強く受けており、若者を中心に人気を集めています。インターネットやSNSを通じて日本語に触れる機会も多く、YOUTUBEでアニメを見たり、漫画を翻訳して読む中で自然と日本語に興味を持ち、独学で学び始める人も少なくありません。「好き」が学びの原動力となり、日本語学習が身近な趣味として定着しているのが、インドネシアならではの特徴です。

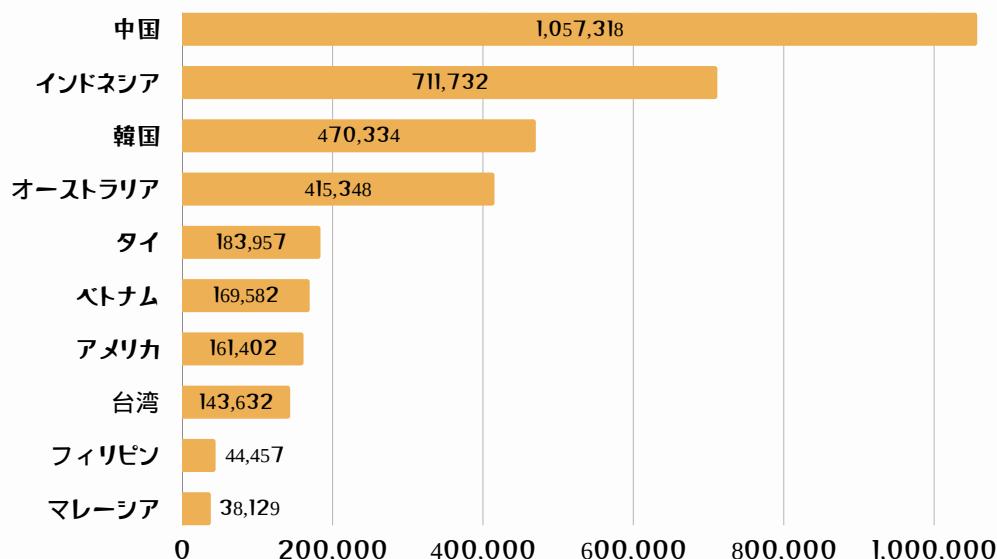
実際、インドネシアは世界で2番目に日本語学習者が多い国であり、2021年時点では約71万人が日本語を学んでいます。中学・高校などの正規教育課程に加え、大学、専門学校、語学スクールなどでも日本語教育が広く展開されています。また、日本での就労を目指す若者も多く、技能実習制度や特定技能制度などを通じて、日本語を学ぶ実用的なニーズも高まっています。

さらに、日本語能力試験（JLPT）の受験者も年々増加しており、N3やN2といった中級レベルを目指す学習者が多く、取得後は日系企業、観光業、通訳・翻訳など、さまざまな分野で活躍する機会が広がっています。日本の文化や生活に興味を持つ若者も多く、日本への留学や長期滞在を希望する人も増えており、言語を通じた日インドネシア間の交流はますます盛んになっています。

今後もインドネシアにおける日本語学習の広がりは続くと考えられ、教育・ビジネス・文化の分野での連携がさらに深まっていくことが期待されます。

日本語学習者数が多い国

単位：人



インドネシアで人気の日本のアニメランキング

1. ドラえもん
2. NARUTO -ナルト-
3. ワンピース
4. 名探偵コナン
5. 美少女戦士セーラームーン
6. 進撃の巨人
7. 鬼滅の刃
8. 呪術廻戦
9. ハイキュー!!
10. クレヨンしんちゃん

インドネシアの通貨と紙幣

インドネシアの通貨は「ルピア（RUPIAH）」で、国際通貨コードは「IDR」と表記されます。硬貨は50～1,000ルピアの5種類、紙幣は1,000～100,000ルピアまでの7種類があり、普段の買い物では紙幣がメインで使われています。

特徴的なのはその桁数の多さ。インドネシアでは「ピリオド(.)」が桁区切り、「カンマ(,)」が小数点と、日本とは逆の表記です。例えば「100.000ルピア」とあっても、それは100,000ルピアの意味。見慣れないと混乱しやすいため、現地では「K(千)」や「R(RIBU)」を使って省略することもよくあります（例：20K=20,000ルピア）。



紙幣に描かれているのは、インドネシアの歴史や文化に深く関わった人物たちですが、100.000ルピアに描かれているスカルノとモハマッド・ハッタは、1945年にインドネシアの独立を宣言

した建国の父として知られています。

スカルノは初代大統領として国民の団結を訴え、ハッタは副大統領として経済や教育制度の基盤整備に尽力しました。二人は独立運動を牽引した象徴的存在であり、現在もインドネシア国民から深い尊敬を集めています。

ちなみに日本でも有名なデヴィ夫人は、このスカルノ元大統領の第3夫人。彼女のINSTAGRAMには若かりし頃のスカルノ元大統領との貴重な写真も投稿されています。

日本円への換算は、「ゼロを3つ取って9.5倍」が目安。たとえば100.000ルピアなら約950円程度です。最初は戸惑いますが、慣れてしまえば感覚もつかみやすくなります。

物価は全体的に日本より安めで、ミネラルウォーター（500ML）は約24円、タクシー初乗りは約80円。お米や日用品も安く、特にローカルな生活スタイルではコストを抑えやすい一方、スターバックスのコーヒーが530円と、日本より高く感じるものもあります。

インドネシアの平均月収は日本円で約3万円、年収になるとおよそ40万円ほど。都市部と地方では年収に20万円以上の差があり、経済格差が課題となっています。経済成長が続く一方で、地域間の生活水準の差にも注目が集まっています。

ほかの紙幣の“顔”はどんな人物？

1.000ルピア



チュ・ニヤ・ムティア
アチエ戦争におけるアチエ・ゲリラ指導者の一人。

2.000ルピア



モハマド・フスニ・タムリン
インドネシアの政治思想家であり、国民的英雄。

5.000ルピア



イダム・ハリド
インドネシアの政治家。

10.000ルピア



フランス・カイシエボ
1993年にインドネシア国家英雄として宣言されたパプア人政治家。

20.000ルピア



サム・ラトゥランギ
初代スラウェシ島知事。教師、ジャーナリストであり国民的英雄。

50.000ルピア



ジュアンダ・カルタウイジャヤ
'57には首相も務めたインドネシアの政治家。